

履修に関する内容

⑤ 資格取得

本学で取得可能な資格

本学を卒業または所定科目を修得することにより、次の資格または免許を取得できます。

(1) 食品衛生管理者（任用資格[※]）⇒ 対象：フードコース・アグリコース

乳製品、食肉製品などの製造・加工を行う施設において、製造・加工を衛生的に管理し、法令に違反しないよう監督・指揮を行うための資格です。

(2) 食品衛生監視員（任用資格[※]）⇒ 対象：フードコース・アグリコース

卒業後公務員となり、保健所など食品衛生行政に関する職務に配属された場合に任用される資格です。食品関連の施設や病院、学校等の給食施設に対して、監視指導を行います。

※任用資格とは、対象科目の単位を修得した上で関連機関や関連企業に就職し、当該職務に任用され、かつ申請することで効力を発揮する資格のことです。

【対象科目一覧】（フードコース）

年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
1	前・後期	教養	必修	からだと健康	2
1	後期	基礎	必修	植物生理・生態学概論	2
1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
2	前期	専門基礎	フード必修	一般化学	2
2	前期	専門基礎	フード必修	生化学	2
2	前期	専門基礎	フード必修	食品微生物学	2
2	前期	専門基礎	フード必修	食品生産科学基礎実験・実習	1
2	後期	専門基礎	フード必修	有機化学	1
2	後期	専門基礎	フード必修	分子生物学	1
2	後期	専門基礎	フード必修	食品化学	2
2	後期	基礎	選択	動物生産学概論	2
2	後期	専門基礎	フード必修	食品安全学	2
2	後期	専門基礎	フード必修	食品製造学	2
2	後期	専門基礎	フード必修	化学実験	1
2	後期	専門	選択	食品物性学	2
3	前期	専門	選択	食品分析学	2
3	前期	専門	フード必修	食品栄養学	2
3	前期	専門	選択	農産物利用学	2
3	前期	専門	フード必修	食品科学実験・実習	2
3	前期	専門	選択	食品安全管理システム論	2
3	後期	専門	フード必修	食品プロセス学実験・実習	4
3	後期	専門	選択	微生物利用学	2

履修に関する内容

【対象科目一覧】（アグリコース）

年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
1	前・後期	教養	必修	からだと健康	2
1	後期	基礎	必修	植物生理・生態学概論	2
1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
2	前期	専門基礎	選択	食品微生物学	2
2	前期	専門基礎	選択	一般化学	2
2	前期	専門基礎	選択	生化学	2
2	後期	基礎	選択	動物生産学概論	2
2	後期	専門基礎	選択	有機化学	1
2	後期	専門基礎	選択	分子生物学	1
2	後期	専門基礎	選択	食品安全学	2
2	後期	専門基礎	選択	食品製造学	2
2	後期	専門	選択	食品物性学	2
2	後期	専門基礎	選択	植物遺伝学	2
2	後期	専門	選択	環境微生物学	2
3	前期	専門	選択	植物生理学	2
3	前期	専門	選択	食品栄養学	2
3	前期	専門	選択	食品分析学	2
3	前期	専門	自由	HACCPシステム論	2
3	後期	専門	アグリ必修	植物分子科学実験・実習	4
3	後期	専門	選択	微生物利用学	2

（３）HACCP管理者 ⇒ 対象：フードコース

世界的な食品衛生管理システム「HACCP」の管理者資格で、食の安全・安心が求められる中、食品製造、品質管理の現場で役立つ資格です。所定科目の単位を修得することで取得することができます。

【対象科目一覧】

年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
2	前期	共通	必修	食品流通論	2
2	前期	専門基礎	フード必修	食品微生物学	2
2	前期	専門基礎	フード必修	一般化学	2
2	前期	専門基礎	フード必修	生化学	2
2	後期	専門基礎	フード必修	食品化学	2
2	後期	専門基礎	フード必修	有機化学	1
2	後期	専門基礎	フード必修	分子生物学	1
2	後期	専門基礎	フード必修	食品安全学	2
2	後期	専門基礎	フード必修	食品製造学	2
2	後期	専門	選択	食品物性学	2
3	前期	専門	フード必修	食品栄養学	2
3	前期	専門	選択	食品分析学	2
3	前期	専門	フード必修	食品科学実験・実習	2
3	前期	専門	自由	HACCPシステム論	2

履修に関する内容

(4) 樹木医補 ⇒ 対象：アグリコース

樹木医補は、樹木医が実施する樹木の保護、育成などの活動を補佐する能力だけでなく、本学において修得した幅広い知識と技術をもって国土の保全や緑化に関わる活動を行い、樹木の適切な保護・管理対策技術や倒木等の危険を察知する能力を養い、対応していくことが求められます。所定科目の単位を修得し、申請することで認定されます。樹木医補に登録し認定を受けた場合、樹木医補を名乗ることができます。また、樹木医研修受講者選抜試験の応募時に優遇措置（受験資格に定める実務経験年数に規定される期間の短縮と受験料の優遇）を受けられます。資格内容や申請方法の詳細については、下記の【樹木医補】ホームページを確認してください。

樹木医補HP：<http://www.jpgreen.or.jp/jyumokuiho/index.html>

【対象科目一覧】

年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
1	後期	基礎	必修	植物生理・生態学概論	2
2	前期	専門基礎	アグリ必修	植物病理学	2
2	前期	専門基礎	アグリ必修	作物・果樹生産科学基礎実験・実習	1
2	後期	専門基礎	自由	樹木学特別実習	1
2	後期	専門基礎選択	選択	農薬学概論	2
3	前期	専門	選択	植物生理学	2
3	前期	専門	アグリ必修	果樹・鑑賞園芸学	2
3	前期	専門	アグリ必修	栽培科学実験・実習	4
3	後期	専門	選択	土壌学	2
3	後期	専門	選択	昆虫学	2
3	後期	専門	アグリ必修	植物分子科学実験・実習	4

履修に関する内容

(5) 食の6次産業化プロデューサー ⇒ 対象：全コース（レベル1・レベル2）

地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出するための職能レベルを認定します。「わかる（知識）」「できる（実践的スキル）」のうち、本学は「わかる（知識）」のレベル2（支援スタッフ）までの育成機関です。所定科目の単位を修得し、レベル判定申請をすることで認定されます。

レベル1の「わかる（知識）」は「わかる（知識）」のみで認定を受けることができます。レベル2の「できる（実践的スキル）」認定については、食の6次産業化プロデューサー事務局へのレベル判定申請が必要となります。資格内容や申請方法の詳細については下記の【食の6次産業化プロデューサー】ホームページを確認してください。

食の6次産業化プロデューサーHP：<https://www.6ji-biz.org/>

■食プロレベル2の取得を目指す場合には、レベル1およびレベル2の対象科目全ての単位の修得が必要です。

■レベル2（支援スタッフ）は、ビジネスコース生のみ対象です。ビジネスコースの学生はレベル2（事業主・法人スタッフ）もしくはレベル2（支援スタッフ）いずれか1つを選択してください。ビジネスコース以外の学生はレベル2（事業主・法人スタッフ）を申請してください。

【対象科目一覧】

レベル	年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
レベル1	1	前期	教養	選択	法学	2
	1	前期	基礎	必修	食料産業概論	2
	1	前期	基礎	必修	食料産業基礎実習	2
	1	前期	共通	選択	インターンシップⅠ	1
	1	後期	基礎	必修	経営学基礎	2
	1	後期	基礎	必修	簿記・会計学	2
	1	後期	基礎	必修	食料産業基礎演習	2
	2	前期	共通	必修	食品流通論	2
(事業主・法人スタッフ) レベル2	2	前期	共通	必修	ビジネスプランニングⅠ	2
	1	前期	教養	選択	法学	2
	1	前期	基礎	必修	食料産業基礎実習	2
	1	前期	共通	必修	栽培学概論	2
	1	後期	基礎	必修	食品学概論	2
	2	前期	基礎	選択	食料・農業・農村政策	2
	2	前期	共通	必修	地域活性化論	2
	2	前期	共通	必修	ビジネスプランニングⅠ	2
	2	後期	専門基礎	ビジネス必修	マーケティング論	2
	2	後期	専門基礎	フード必修	食品安全学	2
	2	後期	専門基礎	フード必修	食品製造学（課外実習必要）	2
(支援スタッフ) レベル2	1	後期	基礎	必修	簿記・会計学	2
	2	後期	共通	必修	ビジネスプランニングⅡ	2
	3	前期	専門	ビジネス必修	農業ビジネス論	2
	3	前期	専門	ビジネス必修	食産業ビジネス演習Ⅰ	2
	3	後期	専門	ビジネス必修	食産業ビジネス演習Ⅱ	2
	3	後期	専門	選択	食品企業論	2

履修に関する内容

(6) 自然再生士補 ⇒ 対象：全コース

自然再生士補は、自然再生に必要な基礎的な知識を有する自然再生の推進者です。自然再生士補には、自然再生士が実行する自然再生活動を補佐できる能力や国土の自然再生に対する柔軟な発想、技術者間の連携により国土の再生に向けた活動を実行する能力が求められます。所定科目の単位を修得し、申請することで認定されます。自然再生士補に登録し認定を受けた場合、自然再生士補を名乗ることができます。また、自然再生士資格試験の応募時に優遇措置（受験資格に定める実務経験年数に規定される期間の短縮と受験料の優遇）を受けられます。

資格内容や申請方法の詳細については、下記の【自然再生士補】ホームページを確認してください。

自然再生士補HP：http://www.jpgreen.or.jp/saiseishi/shiho/shiho_seido.html

【対象科目一覧】

コース	年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位	
アグリコース	1	前期	共通	必修	環境科学概論	2	【取得要件①】 「基礎ゼミⅡ」「作物・果樹生産科学基礎実験・実習」「栽培科学実験・実習」の3科目の修得に加え、それ以外の科目の4単位以上の修得 【取得要件②】 左記科目の内、6科目12単位以上の修得
	1	前期	教養	選択	生物学入門	1	
	1	後期	基礎	必修	植物生理・生態学概論	2	
	2	前期	共通	必修	基礎ゼミⅡ	1	
	2	前期	専門基礎	アグリ必修	作物・果樹生産科学基礎実験・実習	1	
	2	前期	基礎	必修	生物資源循環論	2	
	2	後期	専門	選択	環境微生物学	2	
	3	前期	専門	アグリ必修	果樹・鑑賞園芸学	2	
	3	前期	専門	アグリ必修	栽培科学実験・実習	4	
	3	前期	専門	選択	植物生理学	2	
	3	前期	専門	選択	環境技術学	2	
	3	後期	専門	選択	昆虫学	2	
フードコース・ビジネスコース	1	前期	共通	必修	環境科学概論	2	左記科目の内、6科目12単位以上の修得
	1	前期	教養	選択	生物学入門	1	
	1	後期	基礎	必修	植物生理・生態学概論	2	
	2	前期	共通	必修	基礎ゼミⅡ	1	
	2	前期	基礎	必修	生物資源循環論	2	
	2	後期	専門	選択	環境微生物学	2	
	3	前期	専門	アグリ必修	果樹・鑑賞園芸学	2	
	3	前期	専門	選択	植物生理学	2	
	3	後期	専門	選択	環境技術学	2	

履修に関する内容

(7) 危険物取扱者（甲種） ⇒ 対象：全コース

全ての種類の危険物取り扱いの立会いができます。化学物質を取り扱う研究・開発職などの現場で役立つ資格です。所定科目の単位（15単位以上）を修得することで国家試験受験資格を満たすことができます。なお、取得にあたっては、国家試験に合格する必要があります。

【対象科目一覧】

コース	年次	学期	科目群	履修区分	科目名	単位
アグリコース	1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
	1	後期	基礎	必修	食品学概論	2
	2	前期	専門基礎	アグリ必修	肥科学	2
	2	後期	専門基礎	選択	農薬学概論	2
	2	後期	専門基礎	選択	植物遺伝学	2
	2	後期	専門	選択	環境微生物学	2
	3	前期	専門	選択	植物生理学	2
	3	前期	専門	アグリ必修	植物育種学	2
	3	後期	専門	選択	土壌学	2
フードコース	1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
	1	後期	基礎	必修	食品学概論	2
	2	前期	専門基礎	フード必修	食品微生物学	2
	2	前期	専門基礎	フード必修	一般化学	2
	2	前期	専門基礎	フード必修	生化学	2
	2	後期	専門基礎	フード必修	食品化学	2
	2	後期	専門基礎	フード必修	食品製造学	2
	2	後期	専門	選択	食品物性学	2
	2	後期	専門基礎	フード必修	食品安全学	2
	3	前期	専門	フード必修	食品栄養学	2
ビジネスコース	1	後期	基礎	必修	微生物学概論	2
	1	後期	基礎	必修	食品学概論	2
	上記アグリコースもしくはフードコースの対象科目（コース必修科目）の単位を習得することが必要					